

分会情報

J R 東海労大阪第一車両所分会
No.6 2 2 2 0 0 8 . 1 0 . 1 4
発行責任者 小林 國博
編集責任者 教 宣 部

時系列等報告書では安全は守れない！！

現在、会社掲示板には「迅速かつ正確な報告の重要性について」と題する大一両所長名の書面が掲出されています。

この書面は、昨年1月15日付で同題名、安全対策部・人事部名で掲出された書面につけたしたものなので以前にも見たような？と思う人が多いことでしょう。この書面で会社が言っているのは、事故等が発生した場合速やかに時系列等報告書で報告しろということですが、以前から言っていたことであり、つけたした「...再三の指示にも従わず、書面での報告を拒む者が未だ散見されるが、これは安全安定輸送の確保を支障する行為に他ならず、明確な業務指示違反である...」が会社の言いたいことです。

つまり、なかなか社員が会社・管理者の言う通りに従わないための書面と言えます。では何故社員が従わないのでしょうか！正当な報告であれば社員が従わないはずはありません。しかし会社は、何がなんでも書かせることを目的に業務指示を発し恫喝してまでも時系列等報告書を強要するからです。さらに、それでも従わないのは正当な報告の要求でない場合があるからです。

経営理念に反する時系列等報告書の強要反対！

例えば、①作業ミスが発生した時、当事者でもなく周りで作業していただけただけの社員まで時系列等報告書を強要し、業務指示を発する。②期限の切れていた家族証明書の返納が遅れたとして、一部の社員だけに時系列等報告書を強要し、業務指示を発する。③業務中に眼鏡が壊れたため、会社の保障制度を使うために申し出たら時系列等報告書を書けば保障するが書かなければ保障しない。等々、なんでもかんでも時系列等報告書を強要してくる現状があります。

以上のように、会社書面に書かれている事故の再発防止や安全安定輸送に関係のない非常識かつ不当な時系列等報告書の強要が横行しています、だからこそ社員の反発があるのは当然です。

明らかに会社・管理者は時系列等報告書を書かすのが目的化しており、社員に有無言わずに従わせようとしています。また、書けば書いたで内容に注文をつけ、会社・管理者が都合のいいように書き直させることで絶対服従を求めてくるのです。これでは社員が間違いを間違いと言えなくなる可能性があり、とても事故防止や安全安定輸送にはなりません。

会社は、非常識とも言える時系列等報告書の強要を通じて要員不足でも文句一つ言わずに働く社員づくりのために絶対服従を目論んでいるのです。

私たち東海労は「明るくさわやかで活力ある社風の樹立」という経営理念に反し、暗く風通しの悪い職場を生み出し、紙や労力の浪費でしかない時系列等報告書の強要に反対します。これからも「NO」と言うべき時は「NO」と言える風通しのよい職場を求めていきます。